

市川市文学サポーター協働企画展

ちよつとこわ〜い

市川ふしぎ話展



2016.12.10(SAT)~2017.2.26(SUN)

開館時間 平日 10:00~19:30
土日祝 10:00~18:00
※入室は閉館時間の30分前まで

休館日 月曜日(1月9日は開館)
年末年始(12月28日~1月4日)
1月10日、1月31日

観覧料 無料

主催：市川市、市川市文学サポーター
協力：市川民話の会、米屋陽一、葛飾八幡宮
千葉県立中央図書館、童心社、妙正寺



ちよっこわ〜い 市川ふしぎ話展

市川市文学サポーター協働企画展



村田桃香・絵「怪談オウマガドキ学園」シリーズ(童心社)より「幽霊華」「火の玉ふらり」イラスト 画像提供: 童心社



(上) 梶山俊夫「乳なし仁王」(1999)原画
(右) ちりめん本「JAPANESE FAIRY TALE SERIES No.6 THE MOUSE'S WEDDING」(1885) 個人蔵

本展は、日頃より当館のさまざまな活動を支えてくださっている文学サポーターとともに作り上げる、第3回目の協働企画展です。

市川で伝えられてきた民話のなかには、こわい話や不思議な話がたくさんあります。人々の思いや生活の影響を受けながら、少しずつかたちを変えて伝えられてきた民話は、現代も語り継がれ、また、新たに生みだされています。

市川のみならず、全国の民話や妖怪にも視野を広げ、それらを描いた江戸時代以降の貴重な絵画や寺社の宝物などの資料とともに、「ふしぎ話」を紹介します。

市川市文学ミュージアムで、市川のちよっこわくて不思議な一面をのぞいてみませんか。



「志ん板ぼうづきあそび」個人蔵

関連イベント

● 常光徹氏による講演会「民話と異界」(要申込)

2017年1月15日(日) 14:00 ~ 16:00

講師: 常光徹氏

市川市在住の民俗学者。国立歴史民俗博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授。中学校教員時代の経験から、『学校の怪談』(講談社)を発表し、大きな反響を呼んだ。

会場: 市川市生涯学習センター3階 第2研修室

定員: 100名 申込締切: 12月22日(木) 消印有効

● 米屋陽一氏による特別ギャラリートーク(申込不要)

2016年12月18日(日) 14:00 ~ 15:00

講師: 米屋陽一氏

市川市在住の口承文芸学研究者。日出国語中学・高等学校国語科教諭を経て、國學院大学文学部兼任講師を務めた。貴重なコレクションの一部を本展に提供。

会場: 市川市生涯学習センター2階 企画展示室

● 市川のこわい話を聞こう(申込不要)

2017年1月8日(日)

◆第一部(13:30 ~ 14:15) 市川市文学サポーターによる怪談話の朗読会

◆第二部(14:30 ~ 15:30) 市川民話の会による市川のこわい民話語り

会場: 市川市生涯学習センター2階 ベルホール

定員: 先着46名 ※途中入退場可

● 市川市文学サポーターと担当学芸員によるギャラリートーク(申込不要)

2017年1月28日(土)、2月19日(日)

各日 14:00 ~ 15:00

会場: 市川市生涯学習センター2階 企画展示室

〈申込方法〉

往復はがきまたはFAXにて、

①イベント名(1通につき1イベント) ②氏名・ふりがな(2名まで連名可)

③年齢 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号(FAX応募の場合はFAX番号も)を明記のうえ、

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階(FAX: 047-320-3356)

市川市文学ミュージアム「市川 ふしぎ話展」関連イベント係までお送りください。

※応募者多数の場合は抽選を行います。

※締切後でも定員に余裕がある場合は、電話にて申込みを受け付けます。



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

生涯学習センター(中央図書館)2階

TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/>



【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分

【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分

【京成線】鬼越駅より徒歩10分